

福祉 保健

ひとりひとりが健康
で明るい村づくり

●住民福祉の充実●

福祉行政は住民すべてを対象にして、公平・効率的行政を行うことはもとより、ホームヘルパー派遣事業、デイサービス事業、ショートステイ事業等在宅福祉の三本柱を中心に利用者の選択や利用者の負担を組み合わせ、多様なニーズに対応できるよう質・量にわたる一層の充実を図っていきます。

高齢化社会は同時に児童の少ない社会でもあります。活力を維持しながら豊かな二十一世紀を迎えるためには、児童対策は極めて重要と認識しています。近年の社会経済の構造的変化、また就労の変化に伴い保育ニーズは多様化し、



▲毎日を健康で楽しく!

児童の健全育成が行政に求められており、育児休業制度の普及に伴う保護者の育児と就労の両立を支援するため、年度途中の入園が円滑に行われるように配慮しながら、未満児の受入れ、時間延長保育の充実に重点を置き、児童福祉を推進していきます。

| 主な事業と予算額 (千円) | |
|-----------------------|---------|
| ○ホームヘルパーサービス事業委託料 | 17,194 |
| ○老人デイサービス運営事業委託料 | 42,590 |
| ○在宅介護支援センター運営事業委託料 | 16,490 |
| ○特養「桜井の里」負担金 | 10,631 |
| ○身障者療養施設入所委託料「新潟みずほ園」 | 14,442 |
| ○保育園運営管理費 | 309,588 |

●保健衛生対策の推進●

村民の健康で豊かな生活への願い、生活様式の高水準への要求と多様化、そして高度医療受診、健康の保持増進と快適な生活環境づくり等の取り組みが、ますます大きな課題となってきました。

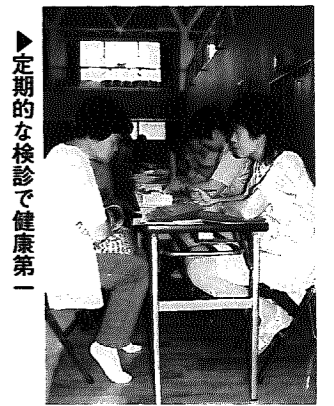
これらの現況を踏まえて、昨年度は保健婦を補充し四人体制で、生まれてから命を全うするまでの各年齢層に求められる予防、検(健)診など総合的に健康を中心とした生活を営まれるような、村づくりを推進していきます。

また、社会福祉法人燕・西蒲原福祉会が平成十年度開所を目的に精神障害者社会復帰通所授産施設「角田の里」新築工事を進めています。国県補助認可の遅れ

から当初で予算措置ができませんでしたが、燕市と郡内十一か町村で一億二千万円余を分担することになり、精神障害者の自覚と社会参加を進めます。ゴミ処理については、組合立の処理場も老朽化しており、新施設建設に迫られ平成十一年着工十三年竣工、概算予算百十三億円で検討が進められています。現在構成町村の助役を中心とした「建設検討委員会」で研究が続けられています。

本年度はゴミ処理関連費として、約一億一千万円近い予算を計上いたします。生活環境保全につきましては、各地域の公衆衛生推進委員の活発な活動に期待し、快適な村づくり事業を推進していきます。

| 主な事業と予算額 (千円) | |
|--------------------|---------|
| ○各種健診及び予防接種事業 | 23,192 |
| ○人間ドック委託料 | 1,968 |
| ○乳児、母子、精神障害者医療費扶助費 | 4,318 |
| ○ごみ収集運搬業務委託料 | 28,098 |
| ○巻町外三ヶ町村衛生組合負担金 | 108,722 |



▲定期的な検診で健康第一

なっている我が国の財政事情にかんがみ、平成九年度を財政構造改革元年と位置付けております。一般会計予算においては、各般の制度改革の実現に努めるなど、歳出全般について聖域を設けることなく徹底した洗い直しに取り組み、特に一般歳出の増加額を極力圧縮することにより、全体歳出規模を厳しく抑制することとし、限られた財源の中で資金の重点的・効率的な配分に努め、質的な充実に配慮することとして編成されております。

地方財政においても「国と地方の関係等に関する改革推進要綱」等を踏まえ、国と同一の基調により歳出を極力抑制するとともに、一般行政経費の節減、合理化、可能な限り借入金への依存度の引き下げ、定員及び給与についての適切な管理等を行うことにより財源の重点的かつ効率的な配分を行い、節度ある財政運営を図るよう要請されているものであります。

当村の平成九年度財政見直しについては、国の予算の動向並びに地方財政計画に基づき試算いたしました。が、継続事業の村立図書館建築工事への財源充当を考慮し、節度ある財政運営を行うことを基本として編成いたしました。一般会計予算は前年度当初予算と比較し、六・四％増の三十六億九千三百万円であり、

教育

個性ある豊かな
人づくりをめざして

●学校教育の振興●

学校教育については、「二十一世紀に向けての創造的で、活力ある社会を築いていく児童生徒の育成」を基本的目標に掲げ、充実した学校生活、学力の向上・情報化・国際化に対応した教育、心



▲創造性をもった豊かな人づくりを!

現在の特に大きな社会問題となっている。不登校等については本年も教育相談事業を継続し、学校との連携の中でその解消を目指し、より一層の指導、助言ができるよう取り組んでいきます。

また、国際化の要請に応え、語学指

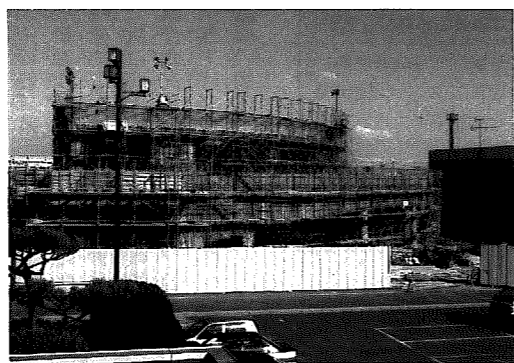
導を行う外国青年を新たに招致し、学校における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際交流の進展を図っていきます。次に学校施設改善であります。本年度も引き続き岩室中学校に重点をおき、老朽化している校内水道管の布設替えのほか、特に全面改修の終わったグラウンド照明施設を整備、学校教育上の使用のみでなく、一般開放により幅広い活用をし、村民のスポーツ振興を図ってまいります。

次に社会教育の推進であります。人づくりによる村づくりを標榜し推進しております。「生涯学習」につきましても、この集大成ともいえるべき村立図書館がいよいよ竣工の運びとなります。

| 主な事業と予算額 (千円) | |
|----------------------|---------|
| ○語学指導事業費 | 4,358 |
| ○岩室中学校グラウンド照明施設整備事業費 | 25,532 |
| ○岩室中学校水道管布設替工事費 | 9,500 |
| ○生涯学習推進事業費 | 1,954 |
| ○図書館建設事業費 | 439,389 |
| ○図書館費 | 25,426 |
| ○学校給食センター費 | 18,589 |

し、人生の積極的な生き方を支える生涯学習の拠点施設として機能することになりますので、大いに期待していただきます。

開館当初の規模といたしましては、新刊本約一万六千冊、在庫本約九千冊と合



▲完成間近の村立図書館

わけて二万五千冊を予定しております。職員体制につきましては、県立図書館出身者を館長に迎え、司書を含む専任二人を配置して、公共図書館としての使命を果たしたいと考えています。

このほか、生涯学習事業といたしましては、ホームヘルパー養成講座を基盤にして、より知識技術を確実のものにするためのボランティア講座として発展させ、地域介護活動への道づけにしたいと考えています。

次に、給食センターでは、栄養のバランスのとれた献立に工夫をこらすとともに、昨年の病原性大腸菌O-157をはじめとする食中毒の防止のための食材の点検、調理過程の衛生保持、手指及び食器類の消毒検査等衛生管理の徹底を図り、児童生徒が喜んで食べる安全な給食を提供することに努めます。

特別会計予算

国民健康保険特別会計

予算総額 5億8,792万円

本年度は、健全な事業運営を図るため、適正賦課、収納率の向上を基盤にして医療費通知、レセプト点検及び保健婦の訪問指導を強化し、医療費の適正化を図ります。

老人保健特別会計

予算総額 9億5,429万円

本村においては、老人割合に応じて医療費も増加しており、保健婦の訪問指導の強化、また広報活動を通じて健康の保持増進と医療費の適正化を一層推進いたします。

温泉集中加熱事業特別会計

予算総額 2,334万円

温泉集中加熱事業の果たす役割は、ますます重要になってきており、新源泉を有効に活用すべく給油施設の充実をはかり、経費節減に努め安全運営に努力します。